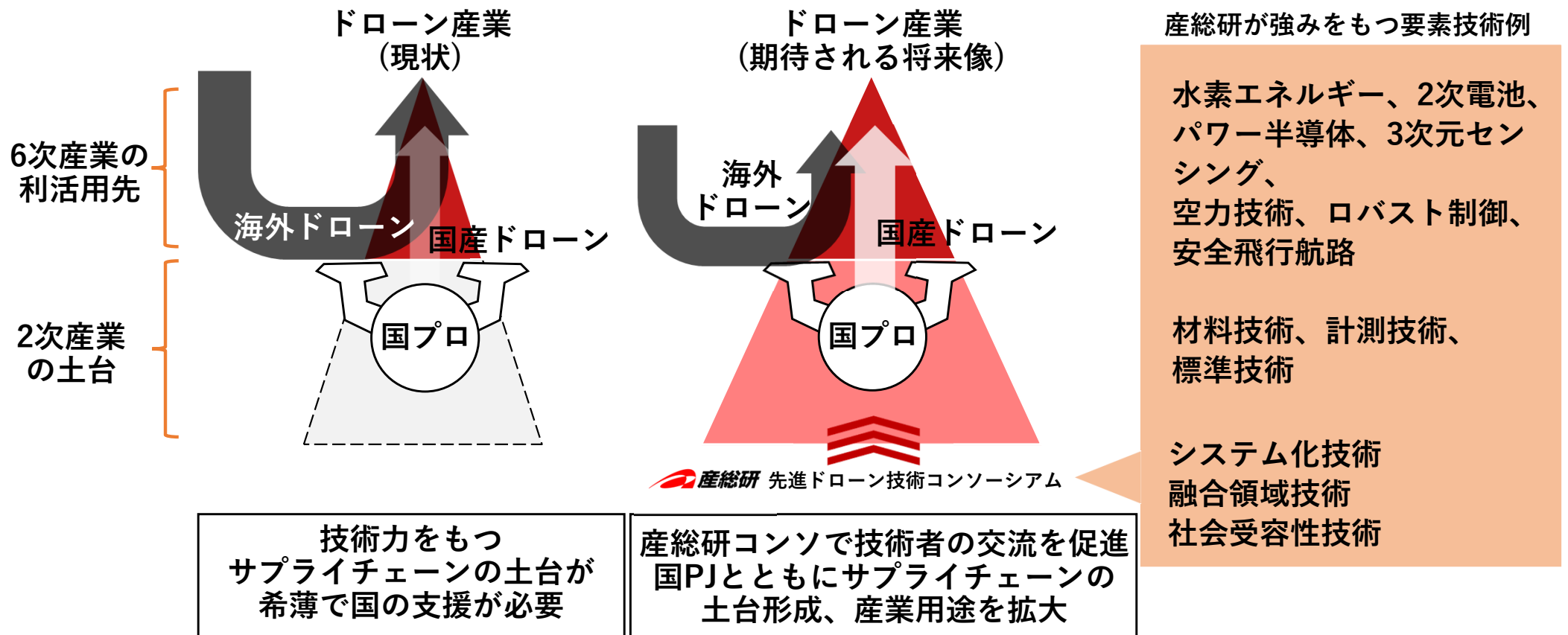


- 産総研技術の民間活用に向けた技術交流の場と技術者のネットワークを形成
- 広範な技術によるシステムである先進ドローン分野に対応した幅広い産総研技術を情報発信
- ドローン産業の技術的な土台となる要素技術毎にWGを輩出し、各WGにより産業界における技術の土台やサプライチェーンを形成を目指す



設置背景・経緯

- 広範な技術分野の集積となるドローン・空飛ぶクルマ・次世代エアモビリティに必要な技術は、同じく広範な技術分野を有する産総研に領域横断的に散在していることから、産業の縮図である産総研の内部から横断的に必要技術の情報共有を行い、外部の産業界とも共有し産業振興を図る。
- 地域部が開催した計2回のドローン企業交流会を通じて、継続的な関係者間の情報共有や交流の場の創出について、産総研内部研究者17名の賛同と外部22社の参加希望のアンケート結果を得た。これを受けて、ドローン企業の交流の場として設置する。
- 関連する国プロのNEDO DRESSプロジェクトの成果活用や、パワー半導体・水素社会などのキーテクノロジーとの連携を推進する。

設置目的

運営会則第2条

本コンソーシアムは、我が国の強みとなっている様々な技術分野を包含するシステムであるドローン（無人航空機）技術の特徴を背景に、技術分野を超えた多様な分野の研究者交流や融合に資するネットワーク構築を通じた各研究分野の活性化を目的とする。本コンソーシアムの活動により、研究者、技術者の相互研鑽や出口応用などの知見を深め合うとともに、ネットワークを通じた産業界、学界、公的研究機関等の関係者との連携を促進し、我が国の多様な産業分野の振興に貢献する。

キーワード:

空飛ぶクルマ、パワー半導体、水素社会、低軌道大容量通信、横断的技術、システム技術、社会学的技術、ネットワーク、エコシステム、サプライチェーン

事業概要

- 運営会則第4条

本コンソーシアムは第2条の目的を達成するために、先進ドローン技術に関連する次の事業（以下「本事業」という。）を行う。

一 国内外の先進ドローン技術並びに関連分野における最新技術の調査及び情報の交換

（先進技術の知見を我が国の産業に活用する産総研コンソーシアム）

二 産学官連携共同研究プロジェクトの立案

（ワーキンググループという仕組みの活用による産業振興）

三 産総研で開発した技術データの提供

（産総研技術を我が国の産業に活用する産総研コンソーシアム）

四 公開セミナーの開催及びウェブサイトを通じた情報の提供による先進ドローン技術の普及並びに啓蒙活動

（最新のDX化を活用した迅速な情報提供）

JDC、JUIDA等の事業に不可欠である技術的知見の土台を形成することで、実用化技術と学術研究技術の乖離を解消し、各機関の事業を含む業界の拡大・活性化へ

産総研先進ドローン 技術コンソーシアム

主たる会員

- ・ 技術分野ごとの技術者のネットワーク
- ・ 技術分野を超えたシステム全体の技術者ネットワーク

主な事業

- ・ 国内外の先進ドローン技術並びに関連分野における最新技術の調査及び情報の交換
- ・ 産学官連携共同研究プロジェクトの立案
- ・ 産総研で開発した技術データの提供
- ・ 情報共有のためのイベント開催等
- ・ 産総研の未来にドローンの役に立つ技術の探索

相互協力

民間の関係団体

主たる会員

- ・ 経営者、操縦士等のネットワーク
- ・ ドローン関連企業等のネットワーク

主な事業

- ・ 操縦技能証明の交付
- ・ 情報収集と共有
- ・ 社会実装のための支援
- ・ 安全ガイドラインの作成・普及
- ・ 講習機関の設定、認定スクール事業の展開
- ・ 制度設計・国際標準化への参画
- ・ 政府への提言
- ・ 海外団体との連携